

## 学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例（令和6年度版）

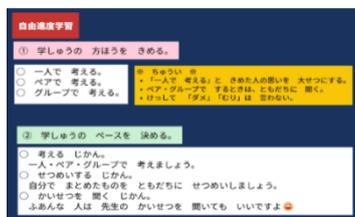
学校名	南さつま市立金峰学園	児童生徒数	398人
-----	------------	-------	------

### ○ 令和5年度 振り返りの実際

成果
(1) 本時のめあてに対するまとめについて、子供自身でまとめを考えることができた。 (2) 次時の学習について課題を提示したことで、次時の学習の見通しをもつことができた。
課題
(1) 振り返りの視点が固定化される。 例：毎時間の振り返りが、「初めて知った」となる。等 (2) 振り返りをする際に、本時の学びの成果を実感できずに終わってしまう。

### ○ 令和6年度 振り返りの実際

改善策
(1) <b>学習者主体の学びの実現に向けて、自由進度学習を取り入れる</b> 国語科の文学的文章において、自由進度学習を取り入れた。その際、子供が学びを調整できるように、手順をロイロノートで提示し、学習の方法やペースを選択させた。【図1】
(2) <b>「わ・で・か・い・も」の振り返りの視点を教室に掲示する</b> 子供が振り返る視点を選択して記述できるように、振り返りの視点を教室に掲示した。【図2】
(3) <b>振り返りの時間を必ず5分確保し、子供たちに振り返りの視点を選択させる</b> 自己の学びの変容や獲得を記録させるために、振り返りの時間を必ず5分確保し、子供たちに振り返りの視点を選択させてから振り返りを記述させた。



【図1】



【図2】

### 成果等

- 自由進度学習を取り入れたことで、子供たちが主体的・対話的で深い学びを実現し、振り返りへとスムーズに取り組むことができた。また、「もっと知りたいこと」として、「登場人物はどうなったのかな。」「○○は、どんな人なのか。」と教材に対する疑問をもちながら振り返りを行うことができていた。
- 「わ・で・か・い・も」の振り返りの視点を教室に掲示することで、子供が振り返る視点を選択して記述することができた。また、常時掲示しているため、見通しをもって学びを進めることができるようになってきた。
- 振り返りの時間を必ず5分確保したことで、自己の学習を省みる姿勢が見受けられた。また、振り返りを積み重ねることで、単元の導入時と終末時の学習を比較する子供も増えた。

